

2013FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦
“コカ・コーラゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第36回大会
三重県・鈴鹿サーキット
7月27日(土)トップ10タイムトライアル 天候:曇 路面:ドライ
観客動員数:28,000人

Team Release

9番手グリッドから追い上げを狙う!

7月27日(土)は、朝から青空が広がり鈴鹿8耐らしい厳しい暑さとなった。トップ10トライアルを前に、午後2時15分から45分間で行われたフリー走行では、前日からのマシンの変更の確認を行いながら1周のみのアタックで争われるトップ10トライアルのシミュレーションを行う。しかし、マシンは、よくなった部分もあれば、ネガな部分も見つかリピットイン・アウトを繰り返しながら問題の原因を追及。伊藤真一もライディングし、マシンのセットアップを進めていく。

そしてトップ10トライアルを迎えようというときに、西コースから雨が落ち始める。このためトップ10トライアルは、40分間の計時予選で行われることに変更。“トップ10タイムトライアル”として行われた。

トップ10タイムトライアルが始まると、いつ雨が降ってくるか分からない状況だったため、まずは、山口がタイムアタックを行い2分09秒091という、このレースウィークのチームベストをマークする。その後も雨は降らずに天気は回復方向となりドライコンディションでセッションは進行。ポジション的には、9番手と金曜日と変わらないポジションだったが、マシンのセットアップは進み決勝に向けて、いいデータを取ることができていた。残るは、いよいよ鈴鹿8耐の決勝のみ。TOHO Racing with MORIWAKIの戦い振りを、ぜひ注目してください。

この日、午前中に行われた鈴鹿4耐に参戦したTOHO Racing clubの福間勇二/大田孝志ペアは、ノートラブルで35位完走を果たしている。



第1ライダー 山口辰也

「フリー走行、トップ10トライアルと走る度に細かいトラブルが出てしまいましたが、何とか走ることができたのは、チームのおかげです。トラブルは出尽くしたと思うので、しっかりマシンを点検して決勝はマージンを取りながらも安定して速く走れるようにしたいです」

第2ライダー 伊藤真一

「不安定な天候のためにトップ10トライアルが計時予選になってしまいましたが、山口選手が頑張ってくれてタイムを出してくれたので予選9番手になれました。あとは、とにかく決勝で頑張るだけです」

第3ライダー 渡辺一馬

「9番手グリッドからのスタートが決まりました。8時間という決勝レースを尊敬する先輩方と一緒に走らせていただくので、ミスのないように一つでもポジションを上げられるように精一杯やるだけです」

監督 齊藤博士

「予選で山口選手が頑張ってくれてトップ10トライアルに出ることができましたが、今日もフリー走行、そしてトップ10トライアルで、いいところ悪いところが出てしまい、うまくマシンをまとめ切れませんでした。解消に向けて動いていますので、決勝はしっかり戦えるようにして臨みたいですね」

このリリースに関するお問い合わせは下記まで
株式会社TOHO 野口佐智代
E-Mail:noguchi@tohoracing.jp
URL:http://tohoracing.jp/

〒739-0024 広島県東広島市西条町御園宇2694
tel (082)493-7895
fax(082)493-7894